

# 令和7年度 授業改善推進プラン（社会）

## 1 学校全体の取組

●研究テーマ 学び合い、教え合い、高め合う集団の育成 ～対話的な学びの充実を目指して～
●研究仮説 心理的安全性の視点に基づいた学級経営・集団の育成を図り、それを基にした学び合い・教え合いの活動を取り入れた 授業を行うことで、生徒の対話的な学びが充実し、新たな視点・価値観を見出すことができるようになる。
●協調学習について 研究テーマの実現を目指し、その仕掛けとして「協調学習」を推進しています。 協調学習：一人ひとりの生徒が自らの頭で考え、仲間と考えを比較吟味し、より適切な答えをつかっていく学習スタイル。

## ★石黒

### 2 全体アンケートからみる研究テーマに対する教科の成果

1年 肯定的な回答が多かった内容 ・「話している人の話をさえぎらず、最後まで聞いてから話すようにしている」 ・「なぜか？どうしてか？と理由を伝えることが大切だと思う」 ・「友達と話し合うことで、じっくり考えることができ、考え方は一つではないと気づいたことがある」 →グループでの対話的な学習の中で、「傾聴」と「根拠をもって伝えること」を指導した成果が出た。
3年 肯定的な回答が多かった内容 1年と同様の3点に加え「最初は自分の考えがまとまらなかったけれど、友達と話をすることで自分の考えがはっきりしたことがある」について肯定的な回答が多い。 →3年公民では「答えのない問」に対して「多面的・多角的な視点」から自分の答えを見出すことを重視した対話活動を行ったため、対話によってより授業課題への思考が深まった。

### 3 全体アンケートからみる研究テーマに対する教科の課題

1年、3年 否定的な回答が多かった内容 ・「相手が話している内容がわからないときに「わからない」とはっきり伝えている」 ・「相手の考えが間違っていると思ったときは「～だから違う」と理由とともに伝えるようにしている」
課題 ・自分の意見に自信を持ってない。そのため多様な意見を表面的に受け入れてしまう、自分の意見を伝えることに自信が持てないなどの課題が見られる。

### 4 課題に関する分析（児童・生徒の実態含む）

1年生 語彙が少なく、文章の読み取りが苦手な生徒が多い。資料が正しく理解できているか不安になることが、自身のなさにつながっている。
3年生 答えのない問が多いため、「正しい答え」を求めてしまう傾向にある。

### 5 課題を改善するためのより具体的な手だて

1年生 生成 AI などを活用させ、生徒にとって理解が難しい語句を生徒が各々簡単な言葉に置き換えて理解できるように促す。
3年生 「正しい答え」のない問に対して、多面的・多角的な回答ができるよう問の内容を精選する。

## ★齊藤

### 2 全体アンケートからみる研究テーマに対する教科の成果

・『グループで話し合うときは、グループ全員が話せるように気をくばっている。』に9割を超える生徒が肯定していた。 生徒が対話的な学びを展開していく中で、新たな考えや視点・価値観を受け入れようとする態度が養われていると感じた。
・『最初はグループの考えがばらばらだったけれど、話し合っていくうちに新しい考えを作り出せたことがある。』にも87%の生徒が肯定的な反応を示していた。仲間と考えを吟味し、適切な答えを作っていく協調学習の効果が表れていると思われる。
・『このクラスの人々は、他と違うことを認めることができる。』に88%の生徒が肯定していた。学び合い・教え合いの活動の中で、どんなアイデアも受け入れようとする、新奇歓迎の心が培われていると感じた。

### 3 全体アンケートからみる研究テーマに対する教科の課題

・『相手が話している内容が分からないときは、「分からない」とはっきり伝えている。』に3割の生徒が否定していた。仲間の意見に対して疑問を持った時に、素直に疑問を投げることをためらう生徒が一定数いると感じている。
・『相手の考えがまちがっていると思ったときは、「～だからちがう」と理由とともに伝えるようにしている。』に3割の生徒が否定していた。仲間の意見と自分の意見を比較し、違いや共通点を見出し、相手が分かるように伝えようとするのがまだ苦手であると感じる。
・『このクラスのメンバーと活動するときは、私の努力が認められ役に立っている。』に23%の生徒が否定した。対話的な学びの中で、自分の考えや思いが相手に新たな視点・価値観を生ませたことを実感させる必要があると感じた。

### 4 課題に関する分析（児童・生徒の実態含む）

・エキスパート活動において説明力が乏しい生徒がいる際に、聞き手側の読解力に頼る部分があった。聞き手側は頑張って説明した相手をおもんばかって、疑問を投げかけたり、「～だからちがう」と批判したりしなかった。
---

### 5 課題を改善するためのより具体的な手だて

・授業では前もって説明する能力が十分ではない子へアドバイスやフォローなど支援を行う。また、相手の考えに対して、否定的な意見を相手が不快な気持ちにならないように伝えることの大切さと重要性を、生徒たちに日頃から適切に指導していく。
---